

未来への誓い



地元の皆さまと共に歩んだ14年間。そしてこれからも...

おかげさまで平成15年に国会に初当選させて頂いて以来、早や14年近くが経ちました。地元の皆さまの温かいご支援にあらためて心から感謝申し上げます。

この度、衆議院小選挙区の区割り見直しを実施され、私の選挙区である東京25区には、従来からの青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村に加えて、昭島市が新たに編入されました。私の名前を初めて耳にする方も多いと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

私は、この14年間、国民の生命と暮らしを守り、日本の国益を守るため、一生懸命に取り組んで参りました。環境兼内閣府副大臣や衆議院内閣委員長、自民党副幹事長や青年局長などの多くの要職も経験させて頂きました。

現在、日本の国は大きな時代の分岐点に立っています。国内においては少子高齢化や人口減少、巨額の財政赤字などの深刻な課題を抱え、国外においては頻発するテロや経済摩擦など外交・安全保障環境もますます厳しくなっています。このような時代であるからこそ、大胆な発想と行動力で困難を切り開き、日本の明るい未来を築いていかなければなりません。これからも全力で頑張っ参ります！

衆議院議員 井上信治



Liberal Democratic Party 副幹事長 団体総局長

信頼できる政治 井上信治

経歴

- 昭和44年10月7日生まれ(47歳)
- 学習院初等科、開成中・高校、東京大学法学部卒業、英国ケンブリッジ大学修士課程修了。国土交通省、外務省勤務。
平成15年11月 公募・予備選を経て、衆議院総選挙で初当選。
- 平成17年、21年、24年、26年総選挙で連続トップ当選し、現在5期目。
平成18年10月 最年少で自民党副幹事長に(2期)。
- 平成19年 8月 多くの総理大臣を輩出した自民党青年局長に(3期)。
平成21年10月 「次の内閣」の大臣に相当する自民党内閣部会長に。
平成22年 9月 国会論戦の主力、自民党国会対策副委員長に(3期)。
平成24年10月 自民党シャドウキャビネット総務大臣(総務部会長)に。
- 平成24年12月 原発事故等を担当する環境兼内閣府副大臣に(3期)。
平成26年 9月 与野党をまとめる国会の要、衆議院内閣委員長に。
- 平成28年 9月 業界団体との連携の総責任者である自民党団体総局長に。

現在の役職

- 自民党 副幹事長、団体総局長、税制調査会幹事、「志公会」事務局長代理、中古住宅市場活性化小委員長、原子力規制に関するプロジェクトチーム座長 他
- 衆議院 総務委員会 筆頭理事
- 国民医療を守る議員の会副会長、都市農業研究会幹事、消防議員連盟幹事、全日本不動産政策推進議員連盟事務局長、東京オリパラ推進議員連盟常任幹事 他
- 日本眼科医連盟参与、裏千家淡交会東京第八西支部副支部長、東京都市町村ソフトボール連盟会長、西多摩サッカー連盟会長 他

新・東京25区



※ 新たに昭島市が選挙区に編入されました

井上信治 後援会

○ 地元事務所
青梅市新町 3-39-1
電話：0428-32-8182
FAX：0428-32-8183

○ 国会事務所
千代田区永田町 2-2-1-317
電話：03-3508-7328
FAX：03-3508-3328

公式サイト <http://www.inoue-s.jp>

<http://www.facebook.com/inoue.s.net>

料金別納

タウンプラス

<1> 平成29年(2017年)9月25日(月曜日)

(昭和30年6月16日第三種郵便物認可) 号外

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 108円(税込み)
<毎週火曜日発行>
自由民主党ホームページ URL <http://www.jlmin.jp/>



衆議院議員

しんじ

井上信治

信頼できる政治

ここからめくって
ぜひ中もご覧ください

衆議院議員 井上信治 の軌跡



1. 青年時代からの夢を叶えて



生まれた時から!?

私は、千代田区御茶の水にある眼科病院の次男として生まれました。政治とは全く縁がない家系でしたが、青年時代に「より多くの人たちを幸せにしたい」という思いを抱き、政治家を志しました。国土交通省や外務省で行政を学び、英国留学中には世界の中の日本を考えさせられました。

西多摩のことが大好きになり、自民党の公募・予備選挙に勇気を奮って挑戦し、おかげさまで初当選させて頂きました。しかし、これは私の夢のスタート地点に過ぎません。有権者の皆さまのご期待に応え、国のため地元のため、これから政治家として何を為すかが勝負です。決して初心を忘れずに、より多くの人たちを幸せにできるよう引き続き挑戦して参ります。



この感激を忘れずに…

2. 若手のホープとして



麻生元総理を師と仰ぐ

麻生太郎総理の下、自民党青年局長に就任しました。青年世代の代表として全国を行脚する中で、各々の地域の実情を知るとともに多くの同志を得ることができたのは、政治家としての大きな財産となりました。また、政策的には厚生労働や国土交通分野を中心に活動し、地道に実績を積み重ねて参りました。

野党時代には、数少ない自民党国会議員として政治のあり方を見つめ直し、厳しい声を重く受け止め、国民一人ひとりと真摯に向き合ったことも貴重な経験となりました。安倍政権の「弛み」や「驕り」が指摘されている今、私たち自民党はもう一度苦しかったこの時の思いを取り戻さなければなりません。



今では考えられないメンバーで!?

3. 環境兼内閣府副大臣に



政権交代後、東日本大震災からの復興や福島第一原発事故への対応などを担当する環境兼内閣府副大臣に就任し、歴代最長となる3期3年にわたって務めました。「被災者に寄り添う」ことを信念とし、毎週のように被災地に通り、除染や中間貯蔵施設の整備、放射性廃棄物の最終処分などの困難な課題に取り組みました。厳しい状況にある時こそ、国民のために先頭に立って困難を切り開いて行く、リーダーシップを学ぶことができました。

福島をはじめとした被災地の復興には、政治家のライフワークとして、これからもずっと携わって参りたいと思います。

4. 現在、そして未来へ



内閣委員長



副幹事長



団体総局長

衆議院においては、経済対策や行財政改革、警察などを所管する内閣委員長を務め、重要法案の成立や与野党間の折衝などに尽力しました。また、委員会運営の与党責任者である筆頭理事を、昨年は財務金融委員会で、今年は総務委員会で務めています。

自民党においては、幹事長を補佐する副幹事長として選挙や人事などの党務に励むとともに、あらゆる業界団体や企業、NPOなどとの連携の総責任者である団体総局長も務めています。

国のため、西多摩と昭島のため、これからも全力で頑張っ参ります!